レベル2地震動適応製品

下水道マンホール用耐震性継手 <拡張バンド方式>

スペーサージョイント NIII

株式会社 信明産業

http://www.shinmei-ri.co.jp/

あらゆる管種に対応します。

V字二重筒状構造の本体ゴムと、独自の断面形状を有する中押リング（拡張バンド）の組合せによりマンホールと本管接合部を地震から守ります。
抜群の止水性能は、地下水を汚染しない環境に優しい継手です。

レベル2地震動に適応

レベル2地震動に適応する性能としては、屈曲角1°かつ管軸方向の変位±60㎜の変位が生じても、外水圧0.10MPa及び内水圧0.05MPaの水圧に耐えうる止水性を有します。

優れた可とう性

【屈曲変位】……………… 15°（リブ管では10°）
【垂直変位】 …………… ±20㎜（リブ管では±10㎜）
【水平変位】 …………… ±60㎜

耐久性の優れた素材

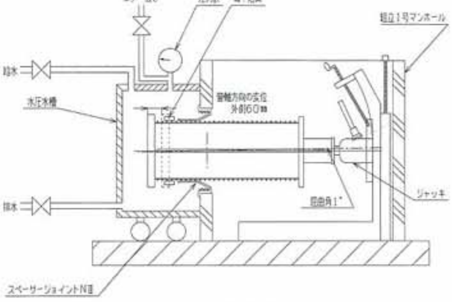
■本体ゴム材質EPDMは、特に耐候性・耐薬品性に優れ、物理的性質はJIS K 6353 水道用ゴム IV類規格に準ずるものです。
■拡張バンド・締付バンドとも、SUS材を使用しています。

施工性

■短時間で取付けが可能です。（即埋め戻しが可能です）
■雨天でも施工可能です。（接着剤・シール剤は不要）
■取付作業は専用治具を使用しますので、初めてでも簡単に取り付けできます。

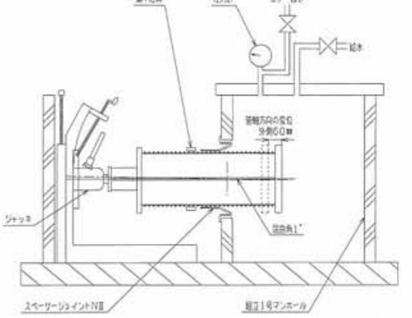
レベル2地震動のテスト状況

【 外水圧試験 】



変位量（屈曲角1°かつ外側60㎜）に移動し、外水圧0.10MPaを保持する。

【 内水圧試験 】



変位量（屈曲角1°かつ外側60㎜）に移動し内水圧0.05MPaを保持する。

【 技術の概要 】

この継手は本体ゴム、中押リング（拡張バンド）、締付バンドおよび、防護リングで構成され止水性、耐震性および、施工性を有しています。マンホールへの装着は、専用の取付治具を用いて中押リング（拡張バンド）を拡径し、本体ゴムをマンホール削孔内面へ押圧します。本管との接続は、本管を本体ゴムへ挿入し、締付バンドで締め付けます。

建設技術審査証明書

技術名称：スペーサージョイントNⅢ

（財）下水道新技術推進機構の建設技術審査証明事業（下水道技術）実施要領に基づき、依頼のあった「スペーサージョイントNⅢ」の技術内容について以下のとおり証明する。なお、この技術は1997年3月12日に審査証明を取得し、変更された技術である。

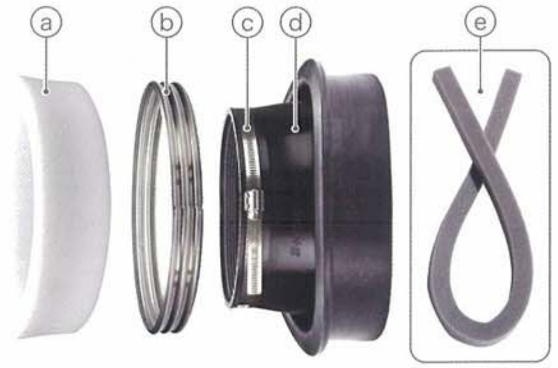
建設技術審査証明事業実施機関
財団法人　下水道新技術推進機構
理事長　松井大悟

記

【 製品寸法表 】

管種	呼び径	NⅢ名称		適用削孔径	管外径
		曲面対応品	平面対応品		
硬質塩化ビニル管	100	VU-100-A	—	210	114
		VU-100-B	—	206	
	125	VU-125-A	VU-125-AF	262	140
		VU-125-B	VU-125-BF	252	
	150	VU-150-A	VU-150-AF	262	165
		VU-150-B	VU-150-BF	252	
	200	VU-200-A	VU-200-AF	314	216
		VU-200-B	VU-200-BF	304	
	250	VU-250-A	VU-250-AF	366	267
		VU-250-B	VU-250-BF	356	
	300	VU-300-A	VU-300-AF	420	318
		VU-300-B	VU-300BF	410	
	350	VU-350-A	—	474	370
		VU-350-B	—	464	
リブ管	150	PRP-150-A	PRP-150-AF	262	171
		PRP-150-B	PRP-150-BF	252	
	200	PRP-200-A	PRP-200-AF	314	228.8
		PRP-200-B	PRP-200-BF	304	
	250	PRP-250-A	—	366	286.2
		PRP-250-B	PRP-250-BF	356	
	300	PRP-300-A	—	420	343.6
		PRP-300-B	PRP-300-BF	410	
鉄筋コンクリート管	150	HP-150-A	HP-150-AF	314	202
		HP-150-B	HP-150-BF	304	
	200	HP-200-A	HP-200-AF	366	254
		HP-200-B	HP-200-BF	356	
	250	HP-250-A	HP-250-AF	420	306
		HP-250-B	HP-250-BF	410	
	300	HP-300-A	—	474	360
		HP-300-B	—	464	
ハイセラミック管	150	HC-150-A	HC-150-AF	314	178
		HC-150-B	HC-150-BF	304	
	200	HC-200-A	HC-200-AF	366	237
		HC-200-B	HC-200-BF	356	
	250	HC-250-A	HC-250-AF	420	296
		HC-250-B	HC-250-BF	410	

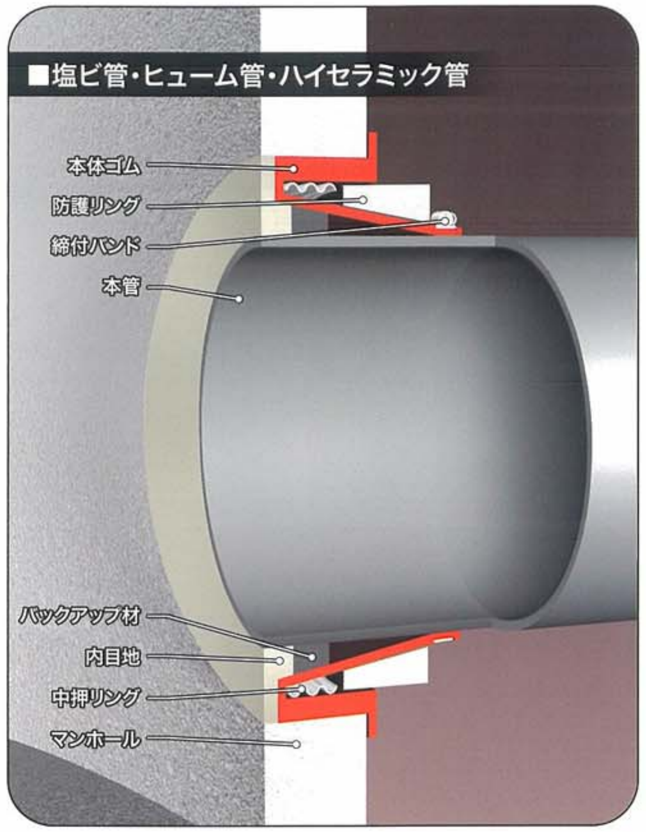
※削孔は適応削孔径にあわせてください。削孔のくぼみや段差は補修してください。
※内目地にバックアップ材をご利用下さい。

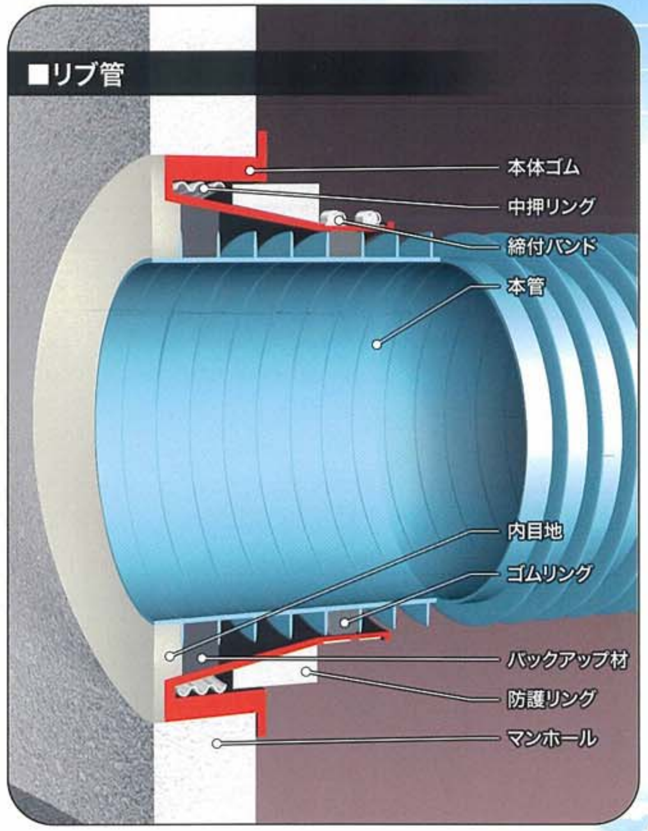


ⓐ 防護リング
（ポリエチレンフォーム）
ⓑ 中押リング（拡張バンド）
（SUS304）
ⓒ 締付バンド
（SUS304）
ⓓ NⅢ本体ゴム
（EPDM）
ⓔ バックアップ材
（ウレタンスポンジ）

●取付用治具＜油圧式＞（別売品）

●取付用治具＜簡易式＞（別売品）





取付手順 削孔は適応削孔径にあわせてください。

マンホールへの取付（塩ビ管・ヒューム管・ハイセラミック管・リブ管共通）

❶ 削孔面の清掃及び確認

削孔面のホコリ等をウエスでふき取ります。**くぼみや段差がある場合は補修してください。削孔径が適正か確認して下さい。**

❷ 本体ゴムをセット

本体ゴムの↑印を上にしてストッパー位置まで押し込みます。**セット後筒部をマンホール内に折り返します。**

❸ 専用治具をセット

中押リングが定位置に有ることを確認し、取付用治具の爪を中押リングに装着します。

❹ 拡張バンド拡径後の状態

中押リングがロックしたらOKです。先端部分の凸凹がかみ合っていることを確認します。

【現場作業】＜塩ビ管・ヒューム管・ハイセラミック管＞

❺ 本管セット

本体ゴムの筒部を外側に戻し、防護リングを本管に預け、本管を挿入してください。

❻ バンドの締付

締付バンドを締めます。**ボックスレンチ等でしっかり締めてください。（締付トルク：5〜7N･m）**

❼ 防護リングのセット

防護リングを隙間に挿入してください。本体ゴムの保護および、可とう部が土砂等で埋まらないようにします。

【現場作業】＜リブ管＞

❺ 本管セット

本体ゴムの筒部を外側に戻し、防護リングを本管に預け、本管を挿入してください。止水ゴムリング（付属品）が締付バンドの位置にくるようにセットして下さい。

❻ バンドの締付

2本の締付バンドは、交互にしっかりと締めます。**ボックスレンチ等でしっかり締めてください。（締付トルク：5〜7N･m）**

❼ 防護リングのセット

防護リングを隙間に挿入してください。本体ゴムの保護および、可とう部が土砂等で埋まらないようにします。

❽ バックアップ材の挿入

本体ゴムと本管の間にバックアップ材を挿入します。

★本管の位置決め

本管の位置決めにはキャンバー等使うと便利です。**（キャンバーは別売）**

【 取付歩掛表 】

呼び径	150	200	250	300
塩ビ管	0.05人	0.06人	0.07人	0.08人
リブ管 ヒューム管 ハイセラミック管	0.06人	0.07人	0.08人	0.09人

※施工手順①〜⑧を連続して作業した場合の1ヶ所あたりの目安です。

下水道管路用耐震シリーズ製品

マンホール用可とう継手

【WIDEジョイント】
VU400～600　FRPM700～2000　HP500～2000

【WIDEジョイント KU】
塩ビ推進管用（内付けタイプ）　VP150～350

【スペーサージョイントSR】
VU300～500　PRP／HP／HC300～450

【スペーサージョイントDR】
推進管用（内付けタイプ）
VU150～450　HP200～800　RS200～700

取付け管用可とう支管継手

【メカロック支管】
VU／VP150～300×100～150
HP／CP／HC200～250×100～150

【WIDE支管（SUS製）】
VU／VP／HP／HC300～×VU150～

【FL支管】
HP500～　×VU150・200（本管×取付管）
HP-D350～ ×VU150・200（本管×取付管）

弾性内メジ材

【スペーサー・ソフト・メジSSⅢ】

マンホール用止水バンド

【Mベルト】

株式会社 信明産業

【本　社】（東京営業部）
〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センタービル531号
<TEL>03-3767-4300　<FAX>03-3767-4310

【大阪営業所】
〒561-0822 大阪府豊中市三国1-3-20 サカエビル
<TEL>06-6333-2010　<FAX>06-6333-2022

【新潟営業所】
〒954-0214 新潟県長岡市中条新田1402番地
<TEL>0256-97-4771　<FAX>0256-98-3525

【新潟工場】
〒954-0214 新潟県長岡市中条新田1402番地
<TEL>0256-97-4984　<FAX>0256-98-3525

※このカタログに記載の寸法・仕様などは、製品改良などにより予告なく変更する場合があります。

人と環境に優しい技術開発
株式会社サンリツ
SANRITSU
本社／〒930-0208 富山県中新川郡立山町浦田124
☎076-462-9325　FAX 076-462-9334

URL http://www.sanritsu.com

E-mail mail@sanritsu.com

■盛岡支店 〒020-0121 岩手県盛岡市月が丘3-40-37
TEL（019）648-8850　FAX（019）648-8851

■北関東支店 〒337-0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮5丁目52-12
TEL（048）686-8892　FAX（048）686-8849

■北陸支店 〒930-0208 富山県中新川郡立山町浦田124
TEL（076）462-9328　FAX（076）462-9334

■名古屋支店 〒485-0012 愛知県小牧市小牧原新田1703-1
TEL（0568）71-0699　FAX（0568）71-0944

■岡山支店 〒710-0016 岡山県倉敷市中庄3138-12
TEL（086）464-0321　FAX（086）464-0323